

STAGE+を楽しむ(275)(HP 収載)  
—モーツァルトのオペラ《魔笛》—

1. 始めに

前報(274)に引き続き、STAGE+のモーツァルトのオペラ《魔笛》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のモーツァルトのオペラ《魔笛》演奏を選びました。

収録日: 2019 年 8 月 4 日

モーツァルトのオペラ《魔笛》は、1791 年の初演から人気を得、現在も世界中で親しまれています。イギリスの有名なオペラ・フェスティバルであるグラインドボーン音楽祭での上演を収めたこの映像は、カナダのバルブ&ドゥゼーによる斬新な演出で話題になりました。舞台の時代設定は 20 世紀初めの老舗ホテル。パペットも使われています。名匠ウィグルワースの指揮と古楽のスペシャリストが集うエイジ・オブ・インライトゥメント管弦楽団の演奏にも注目です。

ソリスト:

Aidan Oliver (トレブル)、デイヴィッド・ポーティロ (テノール)、ソフィア・フォミナ (ソプラノ)、アリソン・ローズ (ソプラノ)、ビョルン・ビュルガー (バリトン)、カロリーネ・ヴェッテグレン (ソプラノ)、エステル・ディールケス (ソプラノ)、マルタ・フォンタナルス=シモンズ (メゾソプラノ)、カタリーナ・マギエラ (メゾソプラノ)、イェルク・シュナイダー (テノール)、ミヒャエル・クラウス (バリトン)、Brindley Sherratt (バス)、フレディ・ジェミソン (ボーイソプラノ)、アマン・デ・シルヴァ (ボーイソプラノ)、ステファン・ジャーコノフ (ボーイソプラノ)、マーティン・スネル (バス)、トーマス・アトキンス (テノール)

演奏:

エイジ・オブ・インライトゥメント管弦楽団、グラインドボーン歌劇場合唱団

指揮:

ライアン・ウィグルスワース

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 歌劇《魔笛》



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** に **Crystal E** を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回もスイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って適用した **LAN iPurifier Pro** の電源を **iPowe2** に交換しています。

今回は、PC の受信から **Sonica DAC** に送り出して再生しています。

お馴染みのオペラで、鳥刺しや夜の女王のアリアなど、聴かせどころがあります。

ステージは、コミカルな構成の筋書きで、仕掛けや効果音もあって、テンポよく進行します。

ソリストの演技も歌唱も個性的で楽しめ、2019 年の収録で音質もよく、ステージ感がリアルに再現されており、とろわけ夜の女王のアリアなどは迫力満点です。





同じプログラムが、2019 年放映の NHK のクラシック音楽館の放送録画で残っていましたが、これも試聴してみましたが、音質的には STAGE+ のアーカイブ配信に及びませんでした。

#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、オペラ魔笛の個性あふれるソリストの歌唱が表現されていました。

以上